


親子で一緒に！

Let's フロアバレーボール

平成28年度 福祉教育親子参加講座

フロアバレーボールって知っていますか？
フロアバレーボールは、全盲や弱視の視覚障害者と健常者が一緒にプレイできるユニバーサルスポーツです！
スポーツを通じて、親子で楽しみながら視覚障害についての理解を深めてみませんか？



お父さん・お母さん
ご参加ください ♪

お友達と一緒に
体験してみよう！

現役の選手が教える！

 日時

平成28年 **10月29日(土)** 13:30~16:00 (13:00~受付)

 会場

川崎市立生田小学校 体育館

多摩区生田7丁目22-1

(小田急線 生田駅 徒歩5分)

 内容

- ・「視覚障がい」ってどんな障がい？
- ・フロアバレーボールってどんなスポーツ？
- ・フロアバレーボールをやってみよう！

 申込

電話、FAX、メール又は来所で受付

10月24日(月) 締切

(裏面の申込書をご使用ください。)

 参加対象・定員【申込締切後、抽選】

区内在住の小学生 **30名**と保護者

※1~3年生は必ず保護者同伴

■主催 社会福祉法人川崎市多摩区社会福祉協議会 福祉教育推進委員会 ■協力 神奈川県フロアバレーボール協会
【お問い合わせ・申込み先】 川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2階 福祉パルたま内

電話：044-935-5500 FAX：044-911-8119 メール：tamaku@csw-kawasaki.or.jp



『フロアバレーボール』ってどんなスポーツ？



フロアバレーボールは、全盲や弱視の視覚障がい者と健常者が一緒にプレイできるように考案された、6人制の球技です。

特徴しては、床の上を滑るように転がってくるボールをネットを挟んで打ち合うスポーツです。

前衛の3人は目隠しを着けて、何も見えない状態でブロックやパスをしながら攻撃をします。一方、後衛の3人は何も着けず前衛の選手にボールの位置やブロックの位置などの指示をしながらプレイをします。「健常者が障害者のサポートに徹する」状況ではなく、視覚障害者も健常者も本当の意味で一緒にプレイを楽しみ、活躍することができます！



アイマスクを付けて、しゃがんでボールをブロック！
ボールの音や後衛選手の指示を聞きながらプレイします！

声を出して前衛にボールが来る方向やブロックする場所を的確に指示！コートの後ろを守りながら、戦略を考える策士です！

★ フロアバレーボールの魅力 ★



スピード性

フロアバレーボールでは、ボールをげんこつで殴打することで「アタック」をします。トップレベルの試合になると、健常者の目でもボールを追いつけないことがあるほどです！



戦術性

フロアバレーボールは、前衛のブロックを適正な位置に動かして相手の攻撃を防いだり、味方同士のパスによって相手の守りのすきを作って効果的な攻撃につなげたりと、その戦術は多岐にわたります！



同じコートで戦う

後衛選手が後方での攻守と指示を担い、前衛選手が前線での攻守を担う。両者が協力し合うことで強いチームができ、試合に勝利することができます。個性の違う人たちが集まり、互いに補い合って目的を果たす。フロアバレーボールは、こうした素晴らしい世界観を体験することができるのです！

★FAX 申込みの場合は、必要事項をご記入の上、送信してください★

川崎市多摩区社会福祉協議会 福祉教育担当宛 / FAX 番号：911-8119

【平成28年度 福祉教育親子参加講座 申込書】

申込締切日：10月24日（月）必着

ふりがな				性別
氏名				男・女
住所	〒 -			
電話		F A X		
学校名		学 年		
同伴者				
備考	※運動の制限や障がい等がございましたらご記入ください。（参加の可否には影響しません）			

※1～3年生までは、必ず保護者の方が同伴してください。

※申込締切り後、郵送にて参加の可否及び詳細をご連絡いたします。